



5-1-2 高等教育機関との連携による地域の魅力や活力の向上

公立大学法人長野大学を中心に、市内に所在する大学など高等教育機関との連携や、学生との協働による学園都市づくりを推進します。

■ 現状と課題

- 地方創生の取組において、地方への人の流れをつくる地方大学などの活性化、地域連携による経済・生活圏の形成の視点が掲げられています。
- 現在、多くの若者が県外に進学している状況があり、令和5年度の県内から他県への大学進学率は81.2%となっています。
- 市内には、5つの大学など（長野大学、信州大学、長野県工科短期大学校、上田短期大学、筑波大学山岳科学センター）や複数の専修学校があり、多くの学生が学び、生活する「学生のまち」の特色があります。
- 大学などの専門知識や学生の若い力を地域の活性化に役立てるとともに、学生が卒業後も地域を支える人材として活躍してもらうことが重要です。
- 平成29年4月に公立大学に移行した長野大学には、一層の地域貢献とともに、時代や社会情勢に応じた改革の実行が求められています。
- 地域への愛着と誇りを育む地域づくり・人づくりに向け、幼児教育から大学教育までの課程をはじめ、ライフステージに応じた「地域の学び」の浸透を図ることが必要です。

【市内4年制大学の学生数および出身別割合(令和6年5月現在)】

【まちなかキャンパスうえだ(高等教育機関と地域との連携活動拠点施設)利用者数(令和4年度～令和6年度)】

名称	学生総数 (人)	内訳(出身別)			
		県内		県外	
		(人)	割合	(人)	割合
信州大学 織維学部	1,163	215	18.5%	948	81.5%
長野大学	1,453	678	46.7%	775	53.3%

出典:上田市作成(学園都市推進室)

※小数点以下の状況で端数処理とする。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
連携窓口 ※1	977	460	572
学びの場 ※2	1,073	2,758	2,466
連携活動 ※3	274	267	213
合計	2,324	3,485	3,251

出典:上田市作成(学園都市推進室)

※1 地域と大学をつなぐ相談等の窓口

※2 大学研究・教育資源を市民の学びに生かす講座等の開講

※3 地域と大学が連携して地域課題等の解決を図る活動の場

■ 達成度をはかる指標・目標値

指標の内容	基準値	計画目標(令和12年度)
長野大学の一般入試実質倍率	2.5倍 (令和3～令和6年度平均)	2.5倍以上

■ 各主体に期待される主な役割分担

市民	<ul style="list-style-type: none">大学などの公開講座に積極的に参加し、学びの成果を地域づくりに生かします。学生の行う地域活動等に積極的に参加・交流を行い、学生の柔軟な発想などを地域づくりに生かします。
学生	<ul style="list-style-type: none">地域づくり活動などに参加し、市民との交流や連携を深めます。市内の他大学学生同士の交流を活性化させ、地域活動のさらなる充実を図ります。
大学など	<ul style="list-style-type: none">多くの学生が集まるよう学校の魅力を高めます。知的資源を地域課題の解決や地域の活性化に生かします。
行政	<ul style="list-style-type: none">大学などの魅力を高めるための支援をします。大学や学生などの連携を促進し、地域づくりに生かします。地域の魅力を高め、愛着を持ち、地域課題に対して解決に向けた行動ができる「シビックプライド」の醸成を図ります。

■ 施策の方向性・展開

■ 基本施策1 大学など高等教育機関や学生との連携・協働による学園都市づくりの促進

- ① 大学・学生・地域の住民および企業等との交流、連携を深め、地域の活性化に向けた取組を推進します。
- ② 生徒・学生をはじめとした若者の声や力を活用し、住み続けたいまち、選ばれる魅力あるまちづくりに取り組みます。

■ 基本施策2 長野大学の大学改革と教育・研究の質の向上を促進

- ① 公立大学法人の設立者として長野大学中期目標の検証・改正を行いながら、公立大学法人長野大学の教育・研究の充実に向け連携して取り組みます。
- ② 理系の新学部を設置し、情報科学を基盤に人工知能（AI）を適切に応用し、未来を創造できる人材の育成を目指します。

■ 主な事業

まちなかキャンパス運営事業 信州上田学推進事業 公立大学法人長野大学施設整備事業

■ 関連する主な個別計画

公立大学法人長野大学第2期中期目標